

平成24年度第2回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成24年5月14日（月）13時00分～13時30分

場 所：熊本県立大学大会議室

出 席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	益田 和弘
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	松尾 隆
地域連携センター長	松添 直隆
学術情報リサーチセンター長	三浦 章
環境共生学研究科長	北原 昭男
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学大学院特任教授	渡辺 満利子
欠 席：熊本県公立高等学校長会会長	森塚 利徳

事務局：田代事務局次長、元鳥教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、阪本企画調整室長、田中学術情報リサーチセンター事務長、前田地域連携センター事務長、教務入試課阿蘇品班長、同課西本班長

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 名誉教授称号授与について

事務局総務課から、資料1に基づき、「今年度の名誉教授称号の授与については、『熊本県立大学名誉教授称号授与規定』及び『熊本県立大学名誉教授称号授与に関する申し合わせ』の規定に基づき、平成23年度に退職された元環境共生学部 中島熙八郎 教授と元総合管理学部 中宮光隆 教授が該当している。規定において、教育研究会議の選考を経て授与することになっている。」との説明があった。

続いて、環境共生学部長から、「中島先生は、本学に35年間、教授として19.3年間在職され、その間、評議員を3期務めるなど、大学運営に携われ、多大なる功績を残された。また、研究においては、農村計画の数多くの分野で多数の論文を発表されている。さらには、社会活動として、熊本県震災対策検討委員会委員など多くの行政分野の委員を務められ、社会的に貢献されており、学術・教育・社会活動の功績が顕著であるので、推薦した。」との説明があった。

続いて、総合管理学部長から、「中宮先生は、本学に30年間、教授として18年間

在職され、その間、学部長、学生部長、評議員として、また、教養、専門の教育、ご自身の専門の経済学を中心とする研究にも取り組まれ、大学運営、教育、研究のいずれの点においても名誉教授として問題ないとの判断で、推薦した。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成26年度一般入試の実施教科・科目等について

事務局教務入試課から、資料2-1に基づき、「試験科目等の変更が志願者の準備等に大きな影響を及ぼすため、文部科学省の通知により試験実施の2年前に教科・科目を予告公表することとされている。平成26年度一般入試の実施教科・科目等については、案としては平成25年度からの変更等はないが、総合管理学部の前期日程試験について検討があるので、総合管理学部から検討内容の説明をお願いします。」との説明があった。

続いて、総合管理学部長から、資料2-2に基づき説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 第26回管理栄養士国家試験結果について

環境共生学部長から、資料3に基づき、「本学の結果については、新卒42名の受験者に対して、40名の合格で、合格率は95.2%であった。管理栄養士国家試験については、合格率が90%を超えるのが一つの評価ラインとなっており、過去5年の中では、一番良い結果であった。ただし、全国の新卒合格率は、91.6%で、全体の合格者数も1万人を超えており、九州内の管理栄養士養成校14校中13校が90%を超え、激戦地域となっており、今後も気を引き締めてやっていきたいと考えている。先日の食健康科学科会議において、今年の結果を2名の不合格者を含め状況分析をするように指示し、今後どのような対策をすれば、90%を超える合格率を維持できるのかを検討し、教授会の中で報告してもらうことにしている。」との報告があった。

② 科学研究費補助金の採択状況等について

事務局地域連携センターから、資料4に基づき、「平成24年度の科学研究費補助金は、昨年より7件増加の67件の応募で、応募率（(応募した教員数) / (当該年度に応募可能な教員数)）は97%と高いものであった。採択件数は昨年より2件増加の11件で、1,260万円となっている。今後は、応募率から採択率の向上に向けて検討する必要がある。」との報告があった。

4 その他

次回日程 平成24年度第3回 6月4日（月）午後1時～ 本部棟2階大会議室

5 閉会